

指定短期入所生活介護 重要事項説明書

指定短期入所生活介護の提供に当たり、事業所の概要や提供されるサービスの内容、利用上の留意事項等の重要事項について次の通り説明します。

1 事業の目的と運営方針

社会福祉法人宗会（以下「事業者」という。）が開設する指定短期入所生活介護ショートステイホーム千年希望の杜美杉（以下「事業所」という。）は、介護保険法令に従い、事業所の従業者等（以下「従業者」という。）要介護状態にある利用者に対し、意思及び人格を尊重し、利用者の立場に立った適切な指定短期入所生活介護サービスを提供することにより、利用者の心身の機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ることを目的とします。

2 事業者（法人）の概要

事業者名称	社会福祉法人慶宗会
代表者氏名	理事長 山本宗大
本社所在地 (連絡先及び電話番号等)	奈良県大和郡山市矢田町 686-1 特別養護老人ホーム千年希望の杜大和郡山 電話 059-272-8800・FAX059-272-1110
法人設立年月日	平成 30 年 2 月 26 日

3 事業所の概要

(1) 事業所の概要

事業所名称	ショートステイホーム千年希望の杜美杉
介護保険指定 事業所番号	三重県指定 2470506490 号
事業所所在地	三重県津市美杉町八知 729 番地 1
連絡先 相談担当者名	電話 059-272-8800 FAX059-272-1110 介護主任 関本裕人
通常の実施地域	津市 名張市
利用定員	8名

(2) 設備の概要

居室	40室 1人部屋 (24室) 2人部屋 (9室) 4人部屋 (7室)
静養室	1室 居室で静養する事が一時的に困難な入所者が使用できる静養

	室を設けます。
食堂	1室 入所者の全員が使用できる十分な広さを備えた食堂を設け、入所者が使用しやすい適切な備品類を設けます。
浴室	2室 一般浴槽、特殊浴槽。
洗面設備	2箇所 入所者が使用しやすい適切な洗面設備を設けます。
便所	3室 入所者が使用しやすい適切な便所を設けます。
医務室	1室 入所者を診療するために必要な設備及び備品を備えます。
機能訓練	1室 入所者が使用できる十分な広さを持つエリアを設けます。
面談室	1室 相談などを行えます。
その他	以下の設備を設けています。 ・介護職員室 ・看護職員室 ・調理室 ・洗濯室 ・介護材料室

(3) 事業所の従業者体制

管理者	施設長 中山茂行
-----	----------

職	職務内容	人員数
管理者	<ol style="list-style-type: none"> 1 従業者の管理及び利用申込に係る調整、業務の実施状況の把握その他の管理を一元的に行います。 2 従業者に、法令等の規定を遵守させるため必要な指揮命令を行います。 3 利用者の心身の状況、希望及びその置かれている環境を踏まえて、機能訓練等の目標、当該目標を達成するための具体的なサービスの内容等を記載した短期入所生活介護計画を作成するとともに利用者等への説明を行い、同意を得ます。 4 利用者へ短期入所生活介護計画を交付します。 5 短期入所生活介護の実施状況の把握及び短期入所生活介護計画の変更を行います。 	常勤1名 特養, 通所と兼務
医師	<ol style="list-style-type: none"> 1 利用者の健康管理や療養上の指導を行います。 	非常勤1名
生活相談員	<ol style="list-style-type: none"> 1 利用者がその有する能力に応じた自立した日常生活を営むことができるよう、生活指導及び入浴、排せつ、食事等の介護に関する相談及び援助などを行います。 2 それぞれの利用者について、短期入所生活介護計画に従ったサービスの実施状況及び目標の達成状況の記録を行います。 	常勤1名 特養と兼務
看護師・ 准看護師 (看護職員)	<ol style="list-style-type: none"> 1 サービス提供の前後及び提供中の利用者の心身の状況等の把握を行います。 2 利用者の健康管理や静養のための必要な措置を行います。 3 利用者の病状が急変した場合等に、医師の指示を受けて、必要な看護を行います。 	非常勤1名 特養と兼務
介護職員	<ol style="list-style-type: none"> 1 短期入所生活介護計画に基づき、生活面での積極性を向上させる観点から利用者の心身に応じた日常生活上の世話を適切に行います。 	常勤20名 非常勤7名 特養と一体的に運営

機能訓練指導員	1 日常生活を営むのに必要な機能の減退を防止するための訓練を行う	1名特養兼務
管理栄養士	2 適切な栄養管理を行います。	常勤1名非常勤1名 特養兼務

<主な職種の勤務体制>

職種	勤務体制
医師	毎週(金曜日) 13:00～14:00
介護職員 (特養職員含む)	標準的な時間帯における最低配置人員 日勤： 7:30～16:30 (4) 遅出： 10:00～19:00 (6) 夜間： 16:30～9:30 (3)
看護職員 (特養兼務)	標準的な時間帯における最低配置人員 早朝： 7:30～16:30 (1) 日勤： 8:00～17:00 (1) 夜間オンコール対応 (1)

4 サービスの概要

(1) 介護保険給付対象サービス

次のサービスについては、居住費・食費を除き、通常9割（～7割）が介護保険から給付されます。「5」利用料等」をご確認ください。

① 短期入所生活介護計画の作成

利用期間が連続して4日間以上の場合、利用者の日常生活全般の状況を踏まえて、短期入所生活介護計画を作成します。その内容を利用者又は代理人に説明し同意を得ます。短期入所生活介護計画を作成した際は、当該計画を利用者に交付します。利用期間が4日間未満の利用者にあっても、利用者を担当する居宅介護支援事業所等と連携をとること等により、利用者の心身の状況等を踏まえて、他の短期入所生活介護計画を作成した利用者準じて、必要な介護及び機能訓練等の援助を行います。

② 介護

利用者の自立の支援と日常生活の充実に資するよう、利用者の心身の状況に応じて、適切な技術をもって行います。

ア 適切な方法により、一週間に2回以上、入浴又は清拭を行います。

イ 適切な方法により、排せつの自立について必要な援助を行います。

ウ おむつを使用せざるを得ない利用者のおむつを適切に取り替えます。

エ 離床、着替え、整容その他日常生活上の世話を適切に行います。

オ 常時1人以上の介護職員を介護に従事させます。

カ 利用者の負担により、従業者以外の者による介護を受けさせることはありません。

③ 食事

栄養並びに利用者の身体状況・嗜好を考慮した食事の提供を、適切な時間に行います。また、利用者の自立支援に配慮して、可能な限り離床して食堂等で食事を摂ることを支援します。

【食事時間】 朝食 8:00～9:00 昼食 11:30～12:30

夕食 17:30～18:30

④ 機能訓練

機能訓練指導員により、利用者の心身の状況等に応じて、日常生活を営む上で必要な生活機能の改善又は維持するための機能訓練を実施します。

⑤ 健康管理

医師及び看護職員により、日常の健康相談や定期的な血圧・体重測定など、常に利用者の健康の状況に注意し、必要に応じて、健康保持のための適切な措置を行います。

⑥ 相談及び援助

常に利用者の心身の状況、その置かれている環境等の的確な把握に努め、利用者又はご家族に対して、その相談に適切に応じるとともに、必要な助言その他の援助を行います。

(2) 介護保険給付対象外サービス

事業所は、利用者又は代理人との合意に基づき、以下の介護保険給付対象外サービスを提供するものとします。

① 特別な食事

利用者又は代理人のご希望に基づいて特別な食事を提供します。

② 貴重品の管理

当施設では預金等の貴重品管理サービスをご利用いただけません。
立替払い制度をご利用ください。

③ 教養娯楽設備等の提供、レクリエーション、クラブ活動

利用者又は代理人の希望により、教養娯楽設備等を提供し、レクリエーションやクラブ活動に参加していただくことができます。

④ 理美容サービス

理美容師の出張による理美容サービスをご利用いただけます。

⑤ インフルエンザ等感染症予防対策

利用者及び代理人、ご家族の意向を確認し、インフルエンザ等感染症の予防接種を行います。

⑥ 利用者の移送

利用者の通院や入院時の移送サービスを行います。

【対象地域】 津市内（無料）

5 利用料等

サービスを利用した場合の「基本利用料」は以下の通りです。お支払いいただく「利用者負担金」は、原則として基本利用料に利用者の介護保険負担割合証に記載された負担割合を乗じた額になります。ただし、支払方法が償還払いになる場合は、利用料の全額をお支払いいただきます。その場合、お支払いを受けた後、事業所からサービス提供証明書を発行しますので、市町村の介護保険担当窓口へ提出し、後日払い戻しを受けてください。

(1) 基本部分

*表は地域区分6級地 1単位10.33円。

		単位数/日 (10.27円)	費用額/日 (10割)	利用者負担額/日			連続61日以上 利用の場合 単位数/日	
				1割	2割	3割		
併設型	併設型 短期入所生活介護費(Ⅰ) (従来型個室)	要介護1	603単位	6,228円	622円	1,245円	1,866円	573単位
		要介護2	672単位	6,941円	694円	1,388円	2,082円	642単位
		要介護3	745単位	7,695円	769円	1,539円	2,308円	715単位
		要介護4	815単位	8,418円	841円	1,683円	2,525円	785単位
		要介護5	884単位	9,131円	913円	1,826円	2,739円	854単位
	併設型 短期入所生活介護費(Ⅱ) (多床室)	要介護1	603単位	6,228円	622円	1,245円	1,866円	573単位
		要介護2	672単位	6,941円	694円	1,388円	2,082円	642単位
		要介護3	745単位	7,695円	769円	1,539円	2,308円	715単位
		要介護4	815単位	8,418円	841円	1,683円	2,525円	785単位
		要介護5	884単位	9,131円	913円	1,826円	2,739円	854単位

(2) 加算・減算

*要件を満たす場合には、上記の基本部分に料金が加算又は減算されます。

*算定の見込みのある加算について、事業所で修正、記載ください。

介護保険給付額に変更があった場合、変更された額に合わせて、利用者負担額を変更しま

す。また上記基本サービス費のほかに、下記加算が発生した場合は自己負担額に追加されます。

*表は地域区分6級地 1単位10.33円。

【加算・減算名】		単位数	費用額 <10割>	利用者負担額		
				1割	2割	3割
① 夜間勤務条件基準を満たさない場合の減算				所定単位の3%減		
② 定員超過又は職員欠如に該当する場合の減算				所定単位の30%減		
③ ユニットケアにおける体制の未整備減算				所定単位の3%減		
④ 身体拘束廃止未実施減算				所定単位の1%減		
⑤ 高齢者虐待防止措置未実施減算				所定単位の1%減		
⑥ 業務継続計画未策定減算				所定単位の1%減		
⑦ 共生型短期入所生活介護を行う場合の取扱いの減算				所定単位の8%減		
⑧ 生活相談員配置等加算		13 単位/日	134 円	13 円	26 円	40 円
⑨ 生活機能向上連携加算 ※個別機能訓練加算を算定している場合	(I)	100 単位/月	1,033 円	103 円	206 円	309 円
	(II)	200 単位/月	2,066 円	206 円	413 円	619 円
	(II)※	100 単位/月	1,033 円	103 円	206 円	309 円
⑩ 専従の機能訓練指導員を配置している場合 (機能訓練体制加算)		12 単位/日	123 円	12 円	24 円	36 円
⑪ 個別機能訓練加算		56 単位/日	578 円	57 円	115 円	173 円
⑫ 看護体制加算	(I)	4 単位/日	41 円	4 円	8 円	12 円
	(II)	8 単位/日	82 円	8 円	16 円	24 円
⑬ 医療連携強化加算		58 単位/日	599 円	59 円	119 円	179 円
⑭ 看取り連携体制加算		64 単位/日	661 円	66 円	132 円	198 円
⑮ 夜勤職員配置加算	(I)	13 単位/日	134 円	13 円	26 円	40 円
	(III)	15 単位/日	154 円	15 円	30 円	46 円
⑯ 認知症行動・心理症状緊急対応加算		200 単位/日	2,066 円	206 円	413 円	619 円
⑰ 若年性認知症利用者受入加算		120 単位/日	1,239 円	123 円	247 円	371 円
⑱ 利用者に対して送迎を行う場合(送迎加算)		184 単位/片道につき	1,900 円	190 円	380 円	570 円
⑲ 緊急短期入所受入加算		90 単位/日	929 円	92 円	185 円	278 円
⑳ 長期利用者に対して短期入所生活介護費を提供する場合 (長期利用減算)		-30 単位/日	-309 円	-30 円	-61 円	-92 円
㉑ 口腔連携強化加算		50 単位/回	516 円	51 円	103 円	154 円
㉒ 療養食加算		8 単位/回	82 円	8 円	16 円	24 円
㉓ 送迎加算		184 単位/回	1,900 円	190 円	380 円	570 円
㉔ 認知症専門ケア加算	(I)	3 単位/日	30 円	3 円	6 円	9 円
	(II)	4 単位/日	41 円	4 円	8 円	12 円

㉕ 生産性向上推進体制加算	(I)	100 単位/月	1,033 円	103 円	206 円	309 円
	(II)	10 単位/月	103 円	10 円	20 円	30 円
㉖ サービス提供体制強化加算	(I)	22 単位/日	227 円	24 円	45 円	68 円
	(II)	18 単位/日	185 円	18 円	37 円	55 円
	(III)	6 単位/日	61 円	6 円	12 円	18 円
㉗ 介護職員等処遇改善加算	(I)	1 月につき所定単位数の 14.0%増				

- ① 夜勤職員の勤務条件が基準を満たさない場合の減算
人員基準上満たすべき夜勤職員の員数を下回る配置を行った場合に一定割合を減算
- ② 定員超過又は職員欠如に該当する場合の減算
事業所の利用定員を上回る利用者の利用又は事業所の看護職員及び介護職員の人員基準上満たすべき員数を下回っている場合に一定割合を減算
- ③ ユニットケアにおける体制の未整備減算
日中の時間帯における介護又は看護職員の配置およびユニットごとに常勤のユニットリーダーを配置していない場合
- ④ 身体拘束廃止未実施減算 ※新設
身体拘束等の適正化を図るための措置*が講じられていない場合

* 身体拘束等の適正化を図るための措置

- ・ 身体的拘束等を行う場合には、その態様及び時間、その際の入所者の心身の状況並びに緊急やむを得ない理由を記録すること
- ・ 身体的拘束等の適正化のための対策を検討する委員会を 3 月に 1 回以上開催すると共に、その結果について、介護職員その他従業者に周知徹底を図ること
- ・ 身体拘束等の適正化のための指針を整備すること
- ・ 介護職員その他の従業者に対し、身体的拘束等の適正化のための研修を定期的実施すること

※令和 7 年 4 月 1 日より適用

- ⑤ 高齢者虐待防止措置未実施減算 ※新設
虐待の発生又はその再発を防止するための措置（虐待の発生又はその再発を防止するための委員会の開催、指針の整備、研修の実施、担当者を定めること）が講じられていない場合
- ⑥ 業務継続計画未策定減算 ※新設
感染症や非常災害の発生時において業務継続計画（利用者に対するサービスの提供を継続的に実施するための計画の策定や、非常時の体制で早期の業務再開を図るための計画）を策定していない、又は業務継続計画に従って必要となる措置を講じていない場合
※感染症の予防及びまん延の防止のための指針の整備及び非常災害に関する具体的計画の策定を行っている場合には、令和 7 年 3 月 31 日までの間適用しない。
- ⑦ 共生型短期入所生活介護を行う場合の取扱い（併設型短期入所生活介護事業所限定）
共生型居宅サービス事業を行う指定短期入所事業者が共生型短期入所生活介護を行う場合に一定割合を減算

- ⑧ 生活相談員配置等加算

共生型短期入所生活介護の指定を受ける事業所が生活相談員を配置し、地域に貢献する活動を行っている場合

- ⑨ 生活機能向上連携加算
自立支援・重度化防止に資する介護を推進するため、外部のリハビリ専門職と連携し、訓練を実施した場合
- ⑩ 専従の機能訓練指導員を配置している場合（機能訓練体制加算）
常勤専従の機能訓練指導員を1名以上配置している場合。
- ⑪ 個別機能訓練加算
機能訓練指導員により個別機能訓練計画を実施した場合
- ⑫ 看護体制加算
常勤の看護師配置と、一定以上の看護師配置をしている場合
- ⑬ 医療連携強化加算
看護体制加算（Ⅱ）又は（Ⅳ）を算定した上で、予め協力医療機関を定め、緊急時等の対応方法について取り決めをしている場合
- ⑭ 看取り連携体制加算 ※新設
看護体制加算を算定した上で、事業所で看取りを行う体制を整えている場合
- ⑮ 夜勤職員配置加算
夜勤を行う職員配置基準を超えて職員配置
- ⑯ 認知症行動・心理症状緊急対応加算
医師により、認知症の行動・心理症状が認められ、在宅生活が困難であり、緊急的な短期入所生活介護が必要であると判断された者に対しサービスを行った場合
- ⑰ 若年性認知症利用者受入加算
若年性認知症患者の特性やニーズに対応したサービス提供を行った場合
- ⑱ 利用者に対して送迎を行う場合（送迎加算）
利用者自宅と事業所間の送迎を行う場合
- ⑲ 緊急短期入所受入加算
居宅サービス計画において計画されていない緊急的な受け入れを行った場合
- ⑳ 長期利用者に対して短期入所生活介護費を提供する場合（長期利用減算）
連続30日を超えて同一の短期入所生活介護事業所を利用している場合
- ㉑ 口腔連携強化加算 ※新設
事業所が利用者の口腔の健康状態の評価を実施し、歯科医療機関及び介護支援専門員に評価結果を提供しており、歯科医療機関との相談体制の確保についても文書等で取り交わされている場合
- ㉒ 療養食加算
療養食の提供が管理栄養士又は栄養士によって管理されており、入所者の年齢、心身の状況

によって適切な栄養量及び内容の療養食の提供が行われている場合

- ②④ 認知症専門ケア加算
認知症自立度Ⅲ以上の入所者の割合が 50%以上の施設において、認知症介護実践リーダー研修修了者を①認知症自立度Ⅲ以上の者が 20 人未満の場合は 1 人以上、②20 人以上の場合は 10 人ごとに 1 人以上配置し、認知症に関する留意事項の伝達又は技術的指導に係る会議を定期的に開催している場合
- ②⑤ 生産性向上推進体制加算 ※新設
介護ロボットや ICT 等の導入後の継続的なテクノロジー活用を支援するため、見守り機器等のテクノロジーを導入し、生産性向上ガイドラインに基づいた業務改善を継続的に行うとともに、効果に関するデータ提出を行う場合
- ②⑥ サービス提供体制強化加算
介護福祉士の資格者等、経験豊富な職員を一定の割合配置している場合
- ②⑦ 介護職員等処遇改善加算 ※新設
介護職員のキャリアアップの仕組みを作ったり、職場環境の改善を行ったりした施設に対して支給される
- (3) その他の費用
- ① 食事の提供に要する費用
- ア 基本料金 1 日当たり 1,545円 (朝食315円、昼食620円、夕食610円)
- イ 入所・退所時等における食費の負担額
入所・退所の日においては、実際に摂った食事ごとの料金とします。ただし、その額がアに定める額を下回った場合はその額とします。なお、終日利用する場合には、特別な場合を除いて実際に摂った食数にかかわらず 1 日の額とします (全ての食事を摂らない場合を除く。)
- ② 滞在に要する費用
基本料金 入所・退所の時間にかかわらず
従来型個室1,231円 (1日当り) 多床室 915円(1日当り) 費用がかかります。
- ③ 利用者又は代理人が選定する特別な食事の提供に要する費用の額
予め利用者又は代理人の選択により外食、注文食、行事食など、①に定める通常の食事の提供に要する費用の額では困難な食費の額については、通常の食費を控除した額を利用者が負担するものとします。当該額は、提供ごとの食事の内容による価格とします。
- ⑤ 送迎に要する費用
【送迎範囲内】 津市内
事業所と自宅間の送迎については、ア又はイの費用をお支払いいただきます。
ア 送迎範囲内の送迎については、片道当たり190円 (利用者負担 1 割の場合)
イ 送迎範囲外の送迎については、アの料金に加え、送迎範囲を 1 km 超えるごとに20円
- ⑥ 理美容代
実費 (理美容1回 2,000円)
- ⑦ その他
- ア 立替払の利用
日常生活における支払い処理に関しては、立替払管理規定に基づく立替払サービスをご利用頂けます。施設にて立て替えた費用については、翌月以降に請求する施設の利用料と一緒に一括して請求します。尚、立替払サービスは行わないこともできます。
- イ その他
・利用者の嗜好品の購入、レクリエーションやクラブなど行事への参加費など諸々費用
実費 (材料代等の実費をご負担いただきます。)

- ・インフルエンザ等感染症予防接種 実費の負担
- ・日常生活において通常必要となる経費であって、利用者負担が適当と認められるもの（利用者の希望により提供する日常生活上必要な身の回り品など）について、費用の実費をご負担いただきます。
- ・電気製品持ち込み（電気毛布 持込テレビに限る） 1日50円の費用をご負担いただきます

ウ キャンセル料

計画に位置づけられた利用日を中止した場合には、次のキャンセル料を申し受けます。

- ・利用前日までに利用中止のご連絡を頂いた場合 無料
- ・利用当日に利用中止のご連絡を頂いた場合（連絡のない場合を含む）

食費相当額 1,495円

※ただし、利用者の病状の急変や急な入院等の場合はキャンセル料は請求いたしません。

＜居住費(滞在費)・食費の負担軽減(負担限度額認定)＞

世帯全員が市町村民税非課税の方（市町村民税世帯非課税者）や生活保護を受けておられる方の場合、市町村へ申請をすることにより、「介護保険負担限度額認定証」が交付され、居住費(滞在費)・食費の負担が軽減される場合があります。

令和6年8月1日から基準となる額面と新たにご負担いただく金額が変わります。

なお、居住費と食事に係る費用について、負担限度額認定を受けている場合には、認定証に記載している負担限度額とします。

【令和6年8月1日より】

(日額)

対象者	区分 利用者 負担	居 住 費		食 費	
		多床室	従来型個室		
生活保護受給の方					
世帯全員が	市町村民税非課税の 老年福祉年金受給の方	段階 1	0円	380円	300円
	市町村民税非課税かつ 本人年金収入等80万円以下 の方	段階 2	430円	480円	600円
	非課税かつ本人年金収入等 が80万円超120万円以下	段階 3 ①	430円	880円	1,000円
	非課税かつ本人年金収入等 が120万円超	段階 3 ②	430円	880円	1,300円
世帯に課税の方がいるか、本人が市町 村民税課税		段階 4	915円	1,231円	1,545円

6 利用料金のお支払方法

利用料は、1月ごとに計算し、翌月の15日までに請求いたしますので、請求された月の指定日までに、次のいずれかの方法でお支払いをお願いします。

(ア)事業者指定口座への振り込み

百五銀行 家城支店 店番605 普通 315470

名義 フク) ケイシュウカイ

(イ)利用者指定口座からの自動振替

ご利用できる金融機関：百五銀行、JA三重中央、郵便局

(ウ)現金支払い

※利用料、利用者負担額（介護保険を適用する場合）及びその他の費用の支払いについて、

正当な理由がないにもかかわらず、支払い期日から2月以上遅延し、さらに支払いの督促から14日以内に支払いが無い場合には、サービス提供の契約を解除した上で、未払い分をお支払いいただくことがあります。

7 サービスの中止、変更、追加

- ① 利用予定日の前に、利用者又は代理人の都合により、指定短期入所生活介護の利用を中止、変更、又は新たなサービスの利用を追加することができます。この場合にはサービスの実施日の前日までに事業所に申し出てください。
- ② 利用予定日の前日までに申し出が無く、当日になって利用の中止の申し出をされた場合、取消料として、5利用料等に記載の料金をお支払いいただく場合があります。ただし、利用者の体調不良等正当な事由がある場合は、この限りではありません。
- ③ サービス利用の変更・追加の申し出に対して、事業所の稼働状況により利用者の希望する期間にサービスの提供ができない場合、他の利用可能日時を契約者に提示して協議します。

8 代理人等について

- (1) 事業所では、契約締結に当たり、代理人、連帯保証人及び身元保証人の設定をお願いしています。
 - ① 代理人は、利用者のご家族又は縁故者若しくは成年後見人等の中から選任していただくものとします。
 - ② 代理人は原則として連帯保証人を兼ねることとします。但し、事業所と代理人と協議の上、代理人とは別の者を連帯保証人とすることができるものとします。
 - ③ 連帯保証人は身元保証人を兼ねるものとします。
- (2) 代理人の職務は、次の通りとします。
 - ① 利用者に代わって又は利用者とともに、契約書第4条に定める同意又は要請、同第8条3項、第10条3項、第20条1項、第21条1項に定める解約・解除の意思表示及び手続き、その他利用者を代理して行う意思表示、事業所の意思表示や報告・通知の受領、事業所との協議等を行うこと。
 - ② 利用者を代理して、又は利用者に代わって、サービス利用料等を支払うこと。
- (3) 連帯保証人の職務は次の通りとします。

利用者と共に連帯して、本契約から生じる利用者の債務を負担すること。
- (4) 身元保証人の職務は、次の通りとします。

利用契約が終了した後、事業所に残された利用者の所持品（残置物）を利用者自身が引き取れない場合の受取り及び当該受取り又は処分にかかる費用を負担すること。
- (5) 連帯保証人の負担する保証債務の内容は以下のとおりとします。
 - ① 連帯保証人の負担は、極度額80万円を限度とします。
 - ② 連帯保証人が負担する債務の元本は、利用者、代理人又は連帯保証人が死亡したときに、確定するものとします。
 - ③ 事業所は、連帯保証人から請求があったときは、遅滞なく、利用料等の支払状況や滞納金の額、損害賠償の額等、利用者の全ての債務の額等に関する情報を提供します。
 - ④ 連帯保証人が死亡又は破産手続開始決定を受けた場合、もしくは連帯保証人について成年後見が開始された場合は、利用者又は代理人は別の連帯保証人を選任するものとします。

9 サービス利用に当たっての留意事項

- (1) ご来所の際
 - ① 利用者又は代理人は、体調の変化があった際には事業所の従業者にご一報ください。
 - ② 利用者は、事業所内の機械及び器具を利用される際、必ず従業者に声をかけてください。
- (2) 禁止行為
以下の行為につきましては、ご遠慮ください。

- ① 決められた場所以外での喫煙・飲酒・飲食等
- ② 従業者又は他の利用者に対し、ハラスメントその他の迷惑行為を行うこと
- ③ 事業所内での金銭及び食物等のやりとり
- ④ 従業者に対する贈物や飲食のもてなし
- ⑤ 従業者及び他の利用者に対する身体的・精神的暴力
- ⑥ その他決められた以外の物の持ち込み

10 緊急時の対応

サービス提供時に利用者の病状の急変が生じた場合、その他必要な場合には、速やかに主治医又は協力医療機関への連絡を行う等の必要な措置を講じます。

11 非常災害対策

事業所は、非常災害その他緊急の事態に備え、必要な設備を備えるとともに、常に関係機関と連絡を密にし、とるべき措置についてあらかじめ消防計画を作成し、消防計画に基づき、従業者等の訓練を行います。

12 事故発生時の対応

サービス提供により事故が発生した場合には、代理人、市町村、関係医療機関等への連絡を行うなど必要な措置を講じ、事故の状況や事故に際してとった処置について記録し、賠償すべき事故の場合には、損害賠償を速やかに行います。

13 身体拘束の禁止

原則として、利用者の自由を制限するような身体拘束を行わないことを約束します。ただし、緊急やむを得ない理由により拘束をせざるを得ない場合には、事前に利用者及び代理人へ十分な説明をし、同意を得るとともに、その態様及び時間、その際の利用者の心身の状況並びに緊急やむを得ない理由について記録します。

14 高齢者虐待の防止、尊厳の保持

利用者の人権の擁護、虐待の防止のために、研修等を通して従業者の人権意識や知識の向上に努め、利用者の権利擁護に取り組める環境の整備に努めます。

利用者の人権及びプライバシーの保護、ハラスメントの防止等のため業務マニュアルを作成し、従業者教育を行います

15 守秘義務に関する対策

事業所及び従業者は、業務上知り得た利用者及び代理人の秘密を洩らさないことを厳守します。また、退職後においてもこれらの秘密を厳守すべき旨を、従業者との雇用契約の内容としています。

16 苦情相談窓口

※サービスに関する相談や苦情については、次の窓口で対応します。

○苦情受付窓口（担当者）生活相談員 野方義信

○受付時間 毎週月曜日～金曜日 8:30～17:30

（電話番号） 059-272-8800

○第三者委員

電話番号 059-272-8800

○受付時間 毎週月曜日～金曜日 8:30～17:30

また、苦情受付ボックスを受付カウンターに設置しています。

※公的機関においても、次の機関において苦情申し出ができます。

苦情申立の窓口

津市役所美杉支所 福祉課	所在地 津市美杉町八知5828-1 電話番号 059-272-8083 受付時間 月～金 9時～17時
国民健康保険団体連合 会	所在地 津市桜橋2-96 電話番号 059-228-9151 受付時間 月～金 9時～17時
三重県社会福祉協議会	所在地 津市桜橋三丁目446番33 電話番号 059-228-9111 受付時間 月～金 9時～17時

17 協力医療機関等

事業所は、下記の医療機関や歯科診療所に協力をいただき、利用者の状態が急変した場合等には、速やかに対応をお願いするようにしています。

①協力医療機関

医療機関の名称	三重県立一志病院
所在地	三重県津市白山町南家城616
診療科	内科・外科・整形外科・眼科

②協力歯科医療機関

医療機関の名称	美杉歯科診療所
所在地	津市美杉町八知5828-1

◇緊急時の連絡先

なお、緊急の場合には、署名欄にご記入いただいた連絡先に連絡します。

18 損害賠償について

当事業所において、事業所の責任により利用者に生じた損害については、事業所は、速やかにその損害を賠償します。守秘義務に違反した場合も同様とします。ただし、損害の発生について、利用者又は代理人に故意又は過失が認められた場合や、利用者の置かれた心身の状況等を斟酌して減額するのが相当と認められた場合には、事業所の損害賠償責任を減じさせていただきます。

事業所は、自己の責めに帰すべき事由がない限り、損害賠償責任を負いません。とりわけ以下の各号に該当する場合には、事業所は損害賠償責任を免れます。

- ① 利用者又は代理人が、契約締結時にその心身の状況及び病歴等の重要事項について故意にこれを告げず、又は不実の告知を行ったことに専ら起因して損害が発生した場合
- ② 利用者又は代理人が、サービスの実施のため必要な事項に関する聴取、確認に対して故意にこれを告げず、又は不実の告知を行ったことに専ら起因して損害が発生した場合
- ③ 利用者の急激な体調の変化等、事業所が実施したサービスを原因としない事由に専ら起因して損害が発生した場合
- ④ 利用者又は代理人が、事業所及び従業者の指示・依頼に反して行った行為に専ら起因して損害が発生した場合

令和 年 月 日

指定短期入所生活介護サービスの開始に当たり、利用者及び代理人に対して利用契約書及び本書面に基づいて重要な事項を説明し交付しました。

<事業所>

所在地 〒515-3421 三重県津市美杉町八知729
事業所名 ショートステイホーム千年希望の杜美杉
管理者名 中山 茂行

説明者 (役職) (氏名) 印

私は、利用契約書及び本書面により、事業所から指定短期入所生活介護サービスについて重要事項説明を受け同意しました。

<利用者(契約者)>

住所

氏名 印

<代理人>

住所

氏名 印

電話番号

<連帯保証人兼身元保証人>

住所

氏名 印

電話番号